

民生委員・児童委員に対する
ひきこもり実態調査報告書
(概要版)

令和3年12月
三重県

I 調査概要

1 調査の目的

県内で活動している民生委員・児童委員を対象に、日頃から把握されているひきこもり状態にある方の数や状況等についてアンケート形式で調査し、県内におけるひきこもりの実態を把握することで、ひきこもり支援に特化した計画の策定や必要な支援に関する施策を検討するための基礎資料とします。

2 調査期間

令和3年7月から8月

3 調査対象及び回収率

(1) 調査対象 : 概ね15歳(中学校卒業後)以上で、ひきこもり状態にある者

〈ひきこもりの定義〉

・社会的参加(仕事・学校・家庭以外の人との交流など)ができない状態が6か月以上続いていて、自宅にひきこもっている状態。

・時々買い物などで外出することはあるが、それ以外の社会的参加ができない状態。

※ただし、重度の障がい(身体・知的・精神)、疾病、高齢等で外出できない者を除く。

(2) 回答数 : 3,777人(令和3年5月末現在の実数:4,088人)

(3) 回収率 : 92.4%

4 調査方法

県内で活動している民生委員・児童委員(主任児童委員を含む)に対して、担当する地区におけるひきこもり状態にある方の数や状況等について、アンケート形式で調査を行いました。

5 調査結果の表示方法

(1) 比率は、原則として各設問のサンプル数[N]に対する百分率を表しています。

(2) 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

Ⅱ 調査結果

1 ひきこもり実態把握数表

市町及び圏域別のひきこもり状態にある方の数は以下のとおりとなりました。

（ ひきこもり状態にある方の数：計 1,270人
ひきこもり状態にある方が「いる」と回答した民生委員・児童委員数：計 831人 ）

市町別	ひきこもり状態にある方の数		「いる」と回答した民生委員・児童委員数	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
津市	124	9.8%	88	10.6%
四日市市	131	10.3%	86	10.3%
伊勢市	96	7.6%	56	6.7%
松阪市	116	9.1%	75	9.0%
桑名市	68	5.4%	45	5.4%
鈴鹿市	58	4.6%	41	4.9%
名張市	66	5.2%	46	5.5%
尾鷲市	8	0.6%	5	0.6%
亀山市	47	3.7%	29	3.5%
鳥羽市	33	2.6%	19	2.3%
熊野市	49	3.9%	31	3.7%
いなべ市	32	2.5%	25	3.0%
志摩市	66	5.2%	37	4.5%
伊賀市	93	7.3%	66	7.9%
木曾岬町	1	0.1%	1	0.1%
東員町	13	1.0%	11	1.3%
菰野町	48	3.8%	35	4.2%
朝日町	10	0.8%	6	0.7%
川越町	14	1.1%	7	0.8%
多気町	38	3.0%	20	2.4%
明和町	14	1.1%	9	1.1%
大台町	14	1.1%	11	1.3%
玉城町	3	0.2%	3	0.4%
度会町	18	1.4%	8	1.0%
大紀町	17	1.3%	11	1.3%
南伊勢町	24	1.9%	11	1.3%
紀北町	48	3.8%	34	4.1%
御浜町	13	1.0%	7	0.8%
紀宝町	8	0.6%	8	1.0%

圏域別	ひきこもり状態にある方の数		「いる」と回答した民生委員・児童委員数	
	人数 (人)	割合 (%)	人数 (人)	割合 (%)
北勢	422	33.2%	286	34.4%
中勢	306	24.1%	203	24.4%
南勢志摩	257	20.2%	145	17.4%
伊賀	159	12.5%	112	13.5%
東紀州	126	9.9%	85	10.2%
合計	1,270		831	

2 民生委員・児童委員に対する質問項目

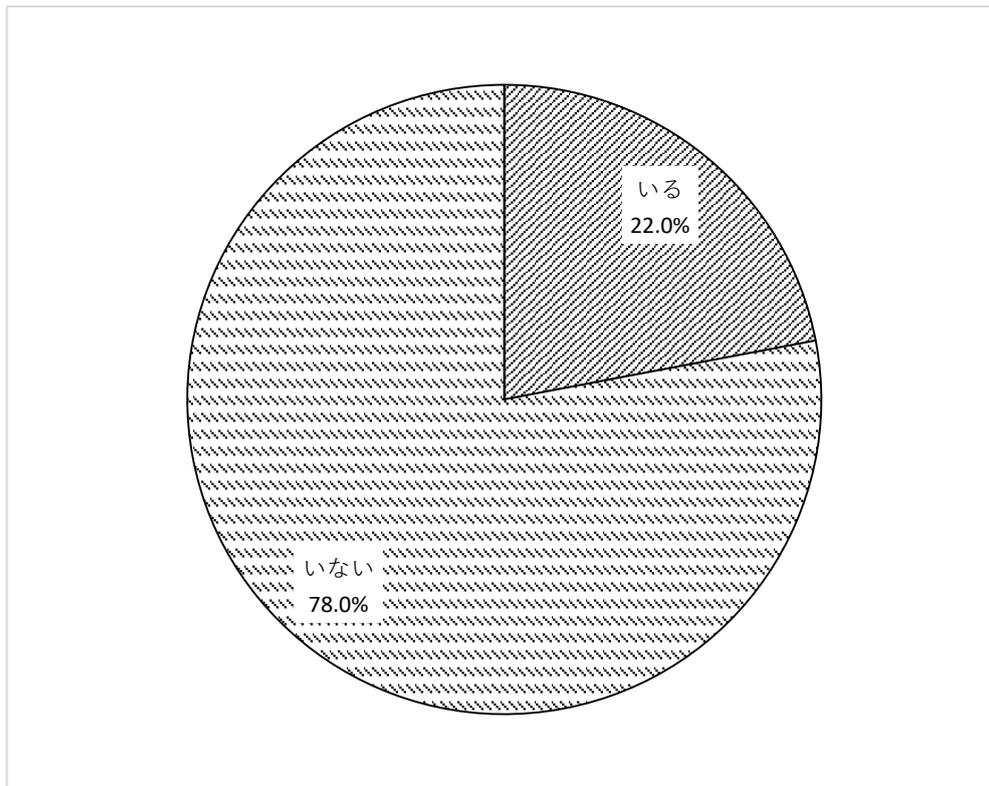
(1) 担当地区におけるひきこもり状態にある方はいますか。

県全体について、「いない」と回答した委員の割合が 78.0% (2,946 名) で、「いる」と回答した委員の割合が 22.0% (831 名) でした。

※「不明」の場合、「いない」と回答する旨、調査時点で整理しました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
いる	回答	831	286	203	145	112	85
	比率	22.0%	19.0%	19.9%	26.0%	24.4%	35.6%
いない	回答	2,946	1,217	816	412	347	154
	比率	78.0%	81.0%	80.1%	74.0%	75.6%	64.4%

■県全体集計（回答率）



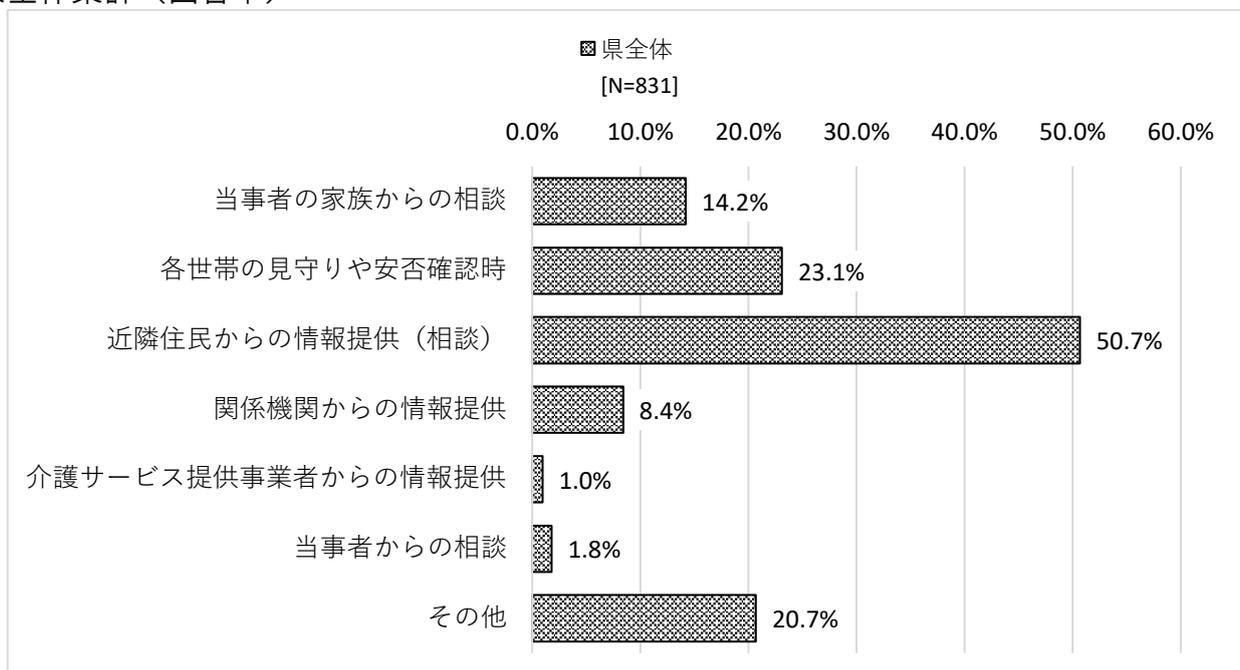
(2) (1)で「いる」と回答した方は、担当する地区にひきこもり状態にある方がいることをどのような方法で知りましたか。(複数回答)

県全体でみると、「近隣住民からの情報提供（相談）」と回答した委員の割合が50.7%(421名)で最も高く、次いで「各世帯の見守りや安否確認時」が23.1%(192名)、「当事者の家族からの相談」が14.2%(118名)という結果になりました。一方で「当事者からの相談」と回答した委員の割合は1.8%(15名)でした。

また、「その他」の項目に関しては、「親族から」「本人の同級生から」「前任者の引き継ぎ」「散歩しているのを見かけなくなった」などの記述がありました。特に多かった記述は「近隣住民からのうわさ」で2.6%(22名)でした。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
当事者の家族からの相談	回答	118	46	28	19	19	6
	比率	14.2%	16.1%	13.8%	13.1%	17.0%	7.1%
各世帯の見守りや安否確認時	回答	192	54	44	44	29	21
	比率	23.1%	18.9%	21.7%	30.3%	25.9%	24.7%
近隣住民からの情報提供（相談）	回答	421	148	105	70	55	43
	比率	50.7%	51.7%	51.7%	48.3%	49.1%	50.6%
関係機関からの情報提供	回答	70	26	18	11	10	5
	比率	8.4%	9.1%	8.9%	7.6%	8.9%	5.9%
介護サービス提供事業者からの情報提供	回答	8	4	1	2	1	0
	比率	1.0%	1.4%	0.5%	1.4%	0.9%	0.0%
当事者からの相談	回答	15	8	3	3	1	0
	比率	1.8%	2.8%	1.5%	2.1%	0.9%	0.0%
その他	回答	172	58	39	34	29	12
	比率	20.7%	20.3%	19.2%	23.4%	25.9%	14.1%

■ 県全体集計（回答率）



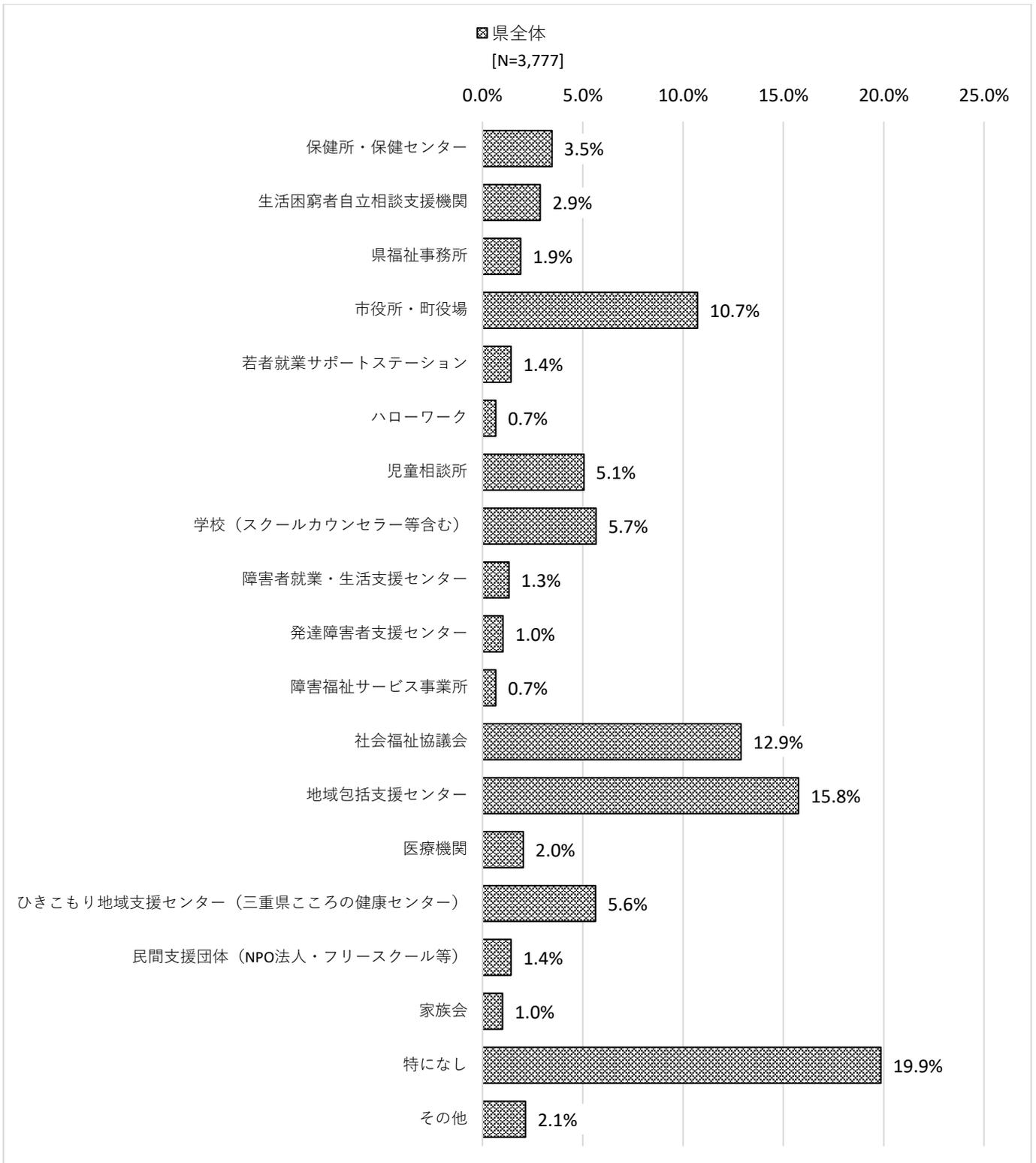
(3) ひきこりに係る相談・支援において、連携している関係機関を教えてください。
(複数回答)

県全体でみると、「特になし」と回答した委員の割合が19.9%(750名)と最も高く、次いで「地域包括支援センター」が15.8%(595名)、「社会福祉協議会」が12.9%(487名)、「市役所・町役場」が10.7%(405名)という結果になりました。

また、「その他」の項目に関しては「警察署」「介護施設」「自治会」「経験がないので相談先がわからない」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
保健所・保健センター	回答	131	54	33	8	28	8
	比率	3.5%	3.6%	3.2%	1.4%	6.1%	3.3%
生活困窮者自立相談支援機関	回答	109	50	23	16	11	9
	比率	2.9%	3.3%	2.3%	2.9%	2.4%	3.8%
県福祉事務所	回答	72	23	24	6	9	10
	比率	1.9%	1.5%	2.4%	1.1%	2.0%	4.2%
市役所・町役場	回答	405	124	83	97	73	28
	比率	10.7%	8.3%	8.1%	17.4%	15.9%	11.7%
若者就業サポートステーション	回答	54	31	4	7	10	2
	比率	1.4%	2.1%	0.4%	1.3%	2.2%	0.8%
ハローワーク	回答	25	13	3	3	4	2
	比率	0.7%	0.9%	0.3%	0.5%	0.9%	0.8%
児童相談所	回答	191	83	54	18	28	8
	比率	5.1%	5.5%	5.3%	3.2%	6.1%	3.3%
学校(スクールカウンセラー等含む)	回答	214	97	57	29	24	7
	比率	5.7%	6.5%	5.6%	5.2%	5.2%	2.9%
障害者就業・生活支援センター	回答	50	23	4	10	11	2
	比率	1.3%	1.5%	0.4%	1.8%	2.4%	0.8%
発達障害者支援センター	回答	39	13	10	7	7	2
	比率	1.0%	0.9%	1.0%	1.3%	1.5%	0.8%
障害福祉サービス事業所	回答	25	9	10	3	1	2
	比率	0.7%	0.6%	1.0%	0.5%	0.2%	0.8%
社会福祉協議会	回答	487	186	86	112	62	41
	比率	12.9%	12.4%	8.4%	20.1%	13.5%	17.2%
地域包括支援センター	回答	595	224	140	114	88	29
	比率	15.8%	14.9%	13.7%	20.5%	19.2%	12.1%
医療機関	回答	77	35	22	5	9	6
	比率	2.0%	2.3%	2.2%	0.9%	2.0%	2.5%
ひきこもり地域支援センター(三重県こころの健康センター)	回答	213	92	61	21	30	9
	比率	5.6%	6.1%	6.0%	3.8%	6.5%	3.8%
民間支援団体(NPO法人・フリースクール等)	回答	54	34	9	5	5	1
	比率	1.4%	2.3%	0.9%	0.9%	1.1%	0.4%
家族会	回答	38	20	5	4	8	1
	比率	1.0%	1.3%	0.5%	0.7%	1.7%	0.4%
特になし	回答	750	316	226	77	71	60
	比率	19.9%	21.0%	22.2%	13.8%	15.5%	25.1%
その他	回答	81	35	15	12	14	5
	比率	2.1%	2.3%	1.5%	2.2%	3.1%	2.1%

■ 県全体集計（回答率）



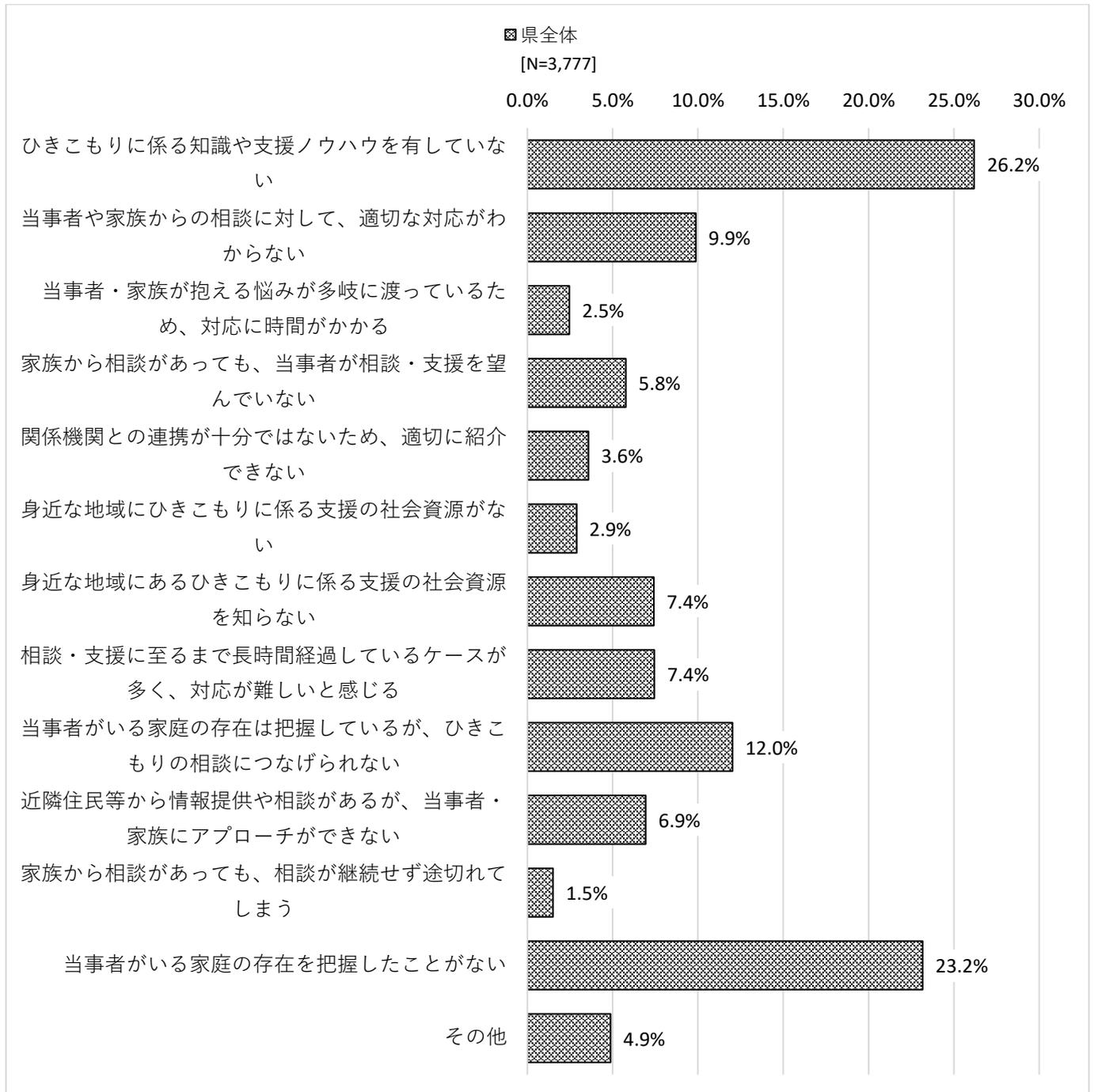
(4) 民生委員・児童委員の皆様がひきこもり支援で困っていることについて教えてください。(複数回答)

県全体でみると、「ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない」と回答した委員の割合が26.2%(989名)と最も高く、次いで「当事者がいる家庭の存在を把握したことがない」が23.2%(875名)で、「当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない」が12.0%(454名)という結果になりました。

また、「その他」の項目に関しては、「守秘義務他、コロナ、プライベートの事なので深くかかわることができない」や「はっきりした情報がないので、アプローチの仕方も難しい」など、訪問に関する距離感などで難しさを抱く記述やプライバシーの課題に関する記述、また「まわりの人に隠す傾向がある」や「家族からの相談が無い」など、家族が介入に忌避感を抱くケースなどの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
ひきこもりに係る知識や支援ノウハウを有していない	回答	989	411	222	163	128	65
	比率	26.2%	27.3%	21.8%	29.3%	27.9%	27.2%
当事者や家族からの相談に対して、適切な対応がわからない	回答	373	173	79	54	43	24
	比率	9.9%	11.5%	7.8%	9.7%	9.4%	10.0%
当事者・家族が抱える悩みが多岐に渡っているため、対応に時間がかかる	回答	93	36	17	21	15	4
	比率	2.5%	2.4%	1.7%	3.8%	3.3%	1.7%
家族から相談があっても、当事者が相談・支援を望んでいない	回答	218	81	53	38	32	14
	比率	5.8%	5.4%	5.2%	6.8%	7.0%	5.9%
関係機関との連携が十分ではないため、適切に紹介できない	回答	135	57	32	13	26	7
	比率	3.6%	3.8%	3.1%	2.3%	5.7%	2.9%
身近な地域にひきこもりに係る支援の社会資源がない	回答	109	45	22	19	13	10
	比率	2.9%	3.0%	2.2%	3.4%	2.8%	4.2%
身近な地域にあるひきこもりに係る支援の社会資源を知らない	回答	280	119	71	31	36	23
	比率	7.4%	7.9%	7.0%	5.6%	7.8%	9.6%
相談・支援に至るまで長時間経過しているケースが多く、対応が難しいと感じる	回答	281	115	64	50	31	21
	比率	7.4%	7.7%	6.3%	9.0%	6.8%	8.8%
当事者がいる家庭の存在は把握しているが、ひきこもりの相談につなげられない	回答	454	167	110	79	57	41
	比率	12.0%	11.1%	10.8%	14.2%	12.4%	17.2%
近隣住民等から情報提供や相談があるが、当事者・家族にアプローチができない	回答	262	104	61	39	36	22
	比率	6.9%	6.9%	6.0%	7.0%	7.8%	9.2%
家族から相談があっても、相談が継続せず途切れてしまう	回答	57	17	16	13	8	3
	比率	1.5%	1.1%	1.6%	2.3%	1.7%	1.3%
当事者がいる家庭の存在を把握したことがない	回答	875	375	243	107	107	43
	比率	23.2%	25.0%	23.8%	19.2%	23.3%	18.0%
その他	回答	184	69	41	43	20	11
	比率	4.9%	4.6%	4.0%	7.7%	4.4%	4.6%

■ 県全体集計（回答率）



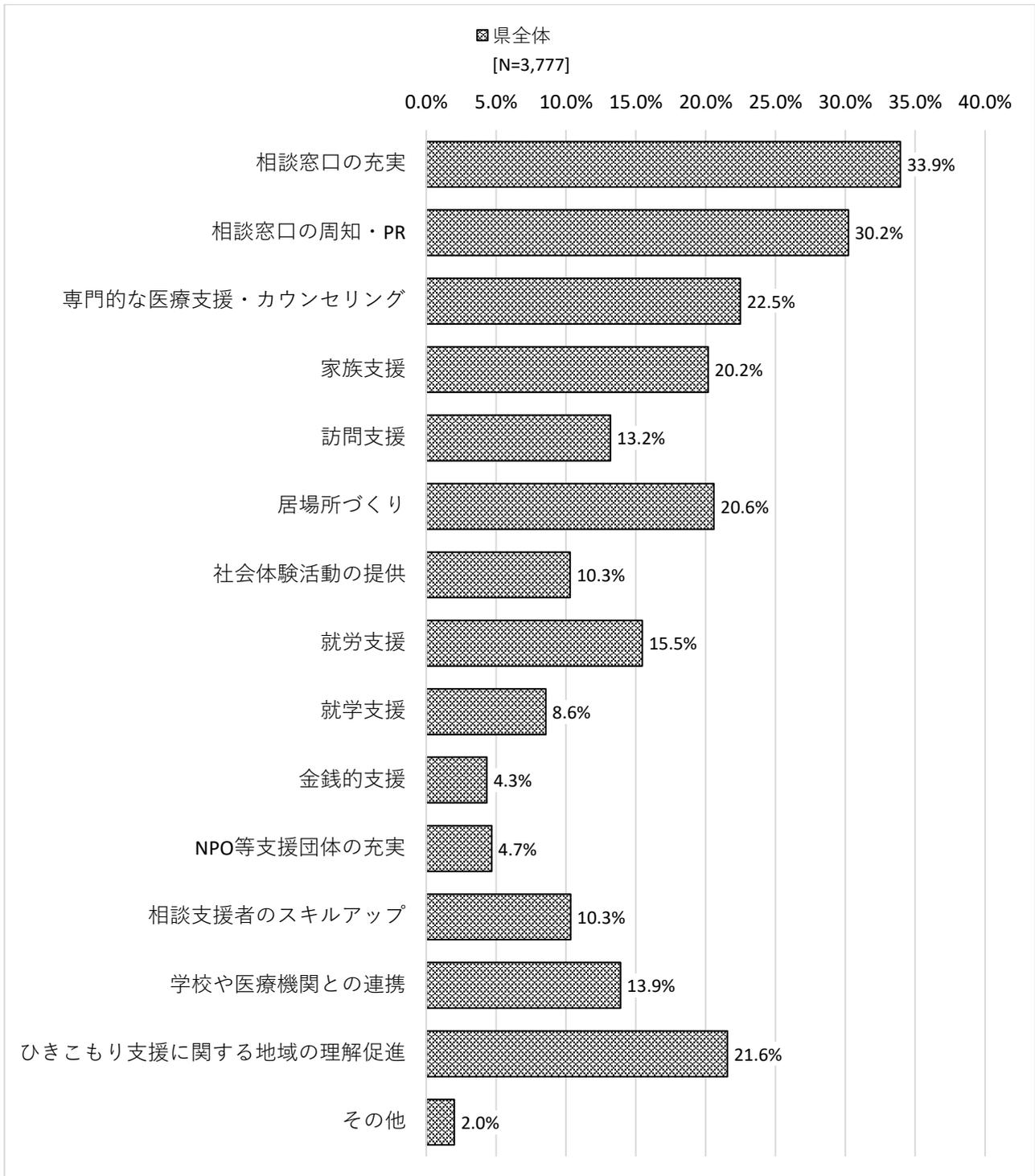
(5) 民生委員・児童委員の皆様がひきこもり支援のために必要と考える施策を教えてください。(複数回答)

県全体でみると、「相談窓口の充実」と回答した委員の割合が33.9%(1,282名)と最も高く、次いで「相談窓口の周知・PR」が30.2%(1,141名)、「専門的な医療支援・カウンセリング」が22.5%(849名)という結果になりました。

また、「その他」の項目に関しては、「専門職の充実」や「ノウハウ蓄積のための勉強会・フォーラム」「調査オンライン化」「どんな時、どこへ相談できるか日頃からわかるように広報する」「信頼関係」「家族や近隣の方の理解が必要である」「家族や本人が相談しようとするきっかけづくり」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
相談窓口の充実	回答	1,282	501	319	178	182	102
	比率	33.9%	33.3%	31.3%	32.0%	39.7%	42.7%
相談窓口の周知・PR	回答	1,141	486	266	170	143	76
	比率	30.2%	32.3%	26.1%	30.5%	31.2%	31.8%
専門的な医療支援・カウンセリング	回答	849	339	199	112	129	70
	比率	22.5%	22.6%	19.5%	20.1%	28.1%	29.3%
家族支援	回答	762	301	170	121	116	54
	比率	20.2%	20.0%	16.7%	21.7%	25.3%	22.6%
訪問支援	回答	498	182	116	80	71	49
	比率	13.2%	12.1%	11.4%	14.4%	15.5%	20.5%
居場所づくり	回答	778	318	173	102	129	56
	比率	20.6%	21.2%	17.0%	18.3%	28.1%	23.4%
社会体験活動の提供	回答	389	163	89	38	59	40
	比率	10.3%	10.8%	8.7%	6.8%	12.9%	16.7%
就労支援	回答	584	247	124	81	80	52
	比率	15.5%	16.4%	12.2%	14.5%	17.4%	21.8%
就学支援	回答	323	145	85	32	42	19
	比率	8.6%	9.6%	8.3%	5.7%	9.2%	7.9%
金銭的支援	回答	164	66	34	20	22	22
	比率	4.3%	4.4%	3.3%	3.6%	4.8%	9.2%
NPO等支援団体の充実	回答	177	75	45	15	26	16
	比率	4.7%	5.0%	4.4%	2.7%	5.7%	6.7%
相談支援者のスキルアップ	回答	390	149	85	58	63	35
	比率	10.3%	9.9%	8.3%	10.4%	13.7%	14.6%
学校や医療機関との連携	回答	525	205	150	68	68	34
	比率	13.9%	13.6%	14.7%	12.2%	14.8%	14.2%
ひきこもり支援に関する地域の理解促進	回答	814	332	175	127	124	56
	比率	21.6%	22.1%	17.2%	22.8%	27.0%	23.4%
その他	回答	76	31	17	14	7	7
	比率	2.0%	2.1%	1.7%	2.5%	1.5%	2.9%

■ 県全体集計（回答率）

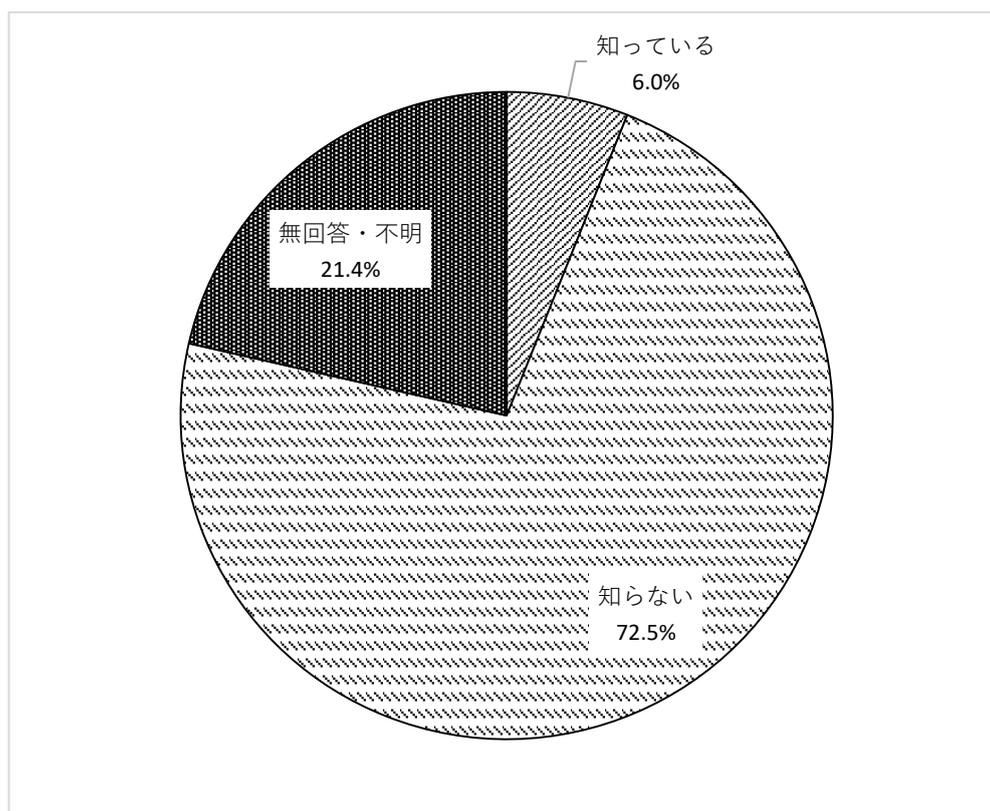


(6) ひきこもりの状態から社会復帰した人を知っていますか。

県全体で見ると、「知らない」と回答した委員の割合が72.5%(2,740名)で、「知っている」と回答した委員の割合が6.0%(228名)でした。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
知っている	回答	228	88	42	45	36	17
	比率	6.0%	5.9%	4.1%	8.1%	7.8%	7.1%
知らない	回答	2,740	1,106	706	390	339	199
	比率	72.5%	73.6%	69.3%	70.0%	73.9%	83.3%
無回答・不明	回答	809	309	271	122	84	23
	比率	21.4%	20.6%	26.6%	21.9%	18.3%	9.6%

■県全体集計（回答率）



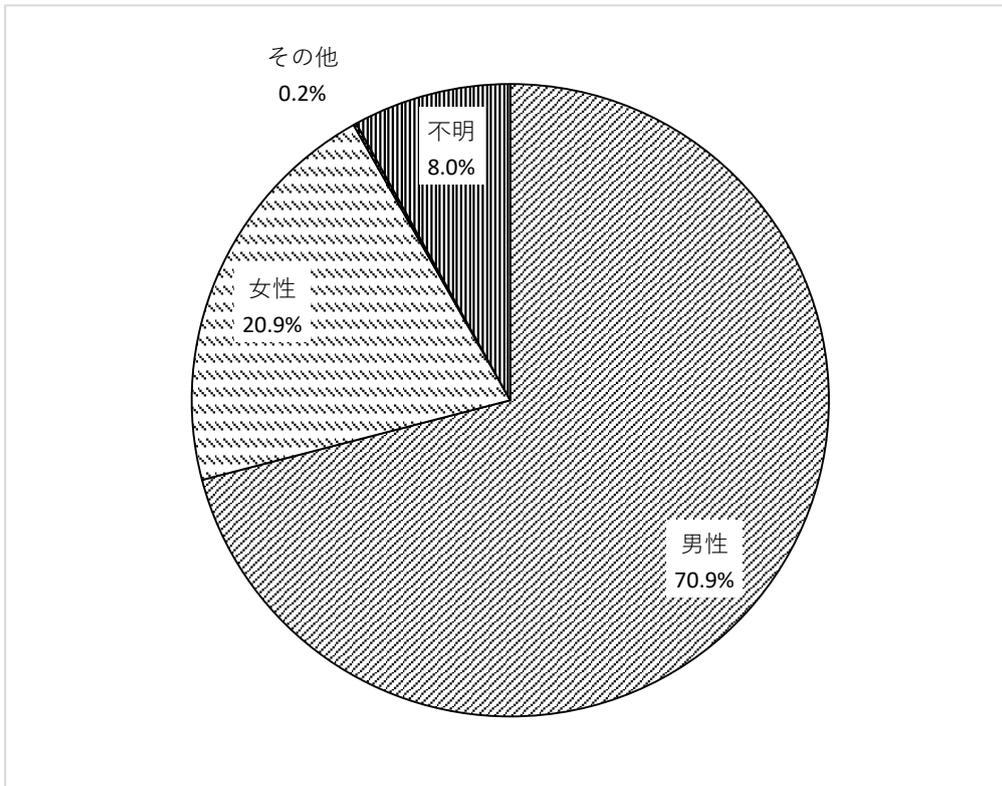
3 ひきこもり状態にある方に関する質問項目

(1) 性別

ひきこもり状態にある方の性別について、県全体でみると、「男性」と回答した委員の割合が70.9%(901名)で、「女性」と回答した委員の割合が20.9%(265名)でした。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
男性	回答	901	302	216	175	117	91
	比率	70.9%	71.6%	70.6%	68.1%	73.6%	72.2%
女性	回答	265	81	64	61	35	24
	比率	20.9%	19.2%	20.9%	23.7%	22.0%	19.0%
その他	回答	2	0	0	1	1	0
	比率	0.2%	0.0%	0.0%	0.4%	0.6%	0.0%
不明	回答	102	39	26	20	6	11
	比率	8.0%	9.2%	8.5%	7.8%	3.8%	8.7%

■ 県全体集計（回答率）

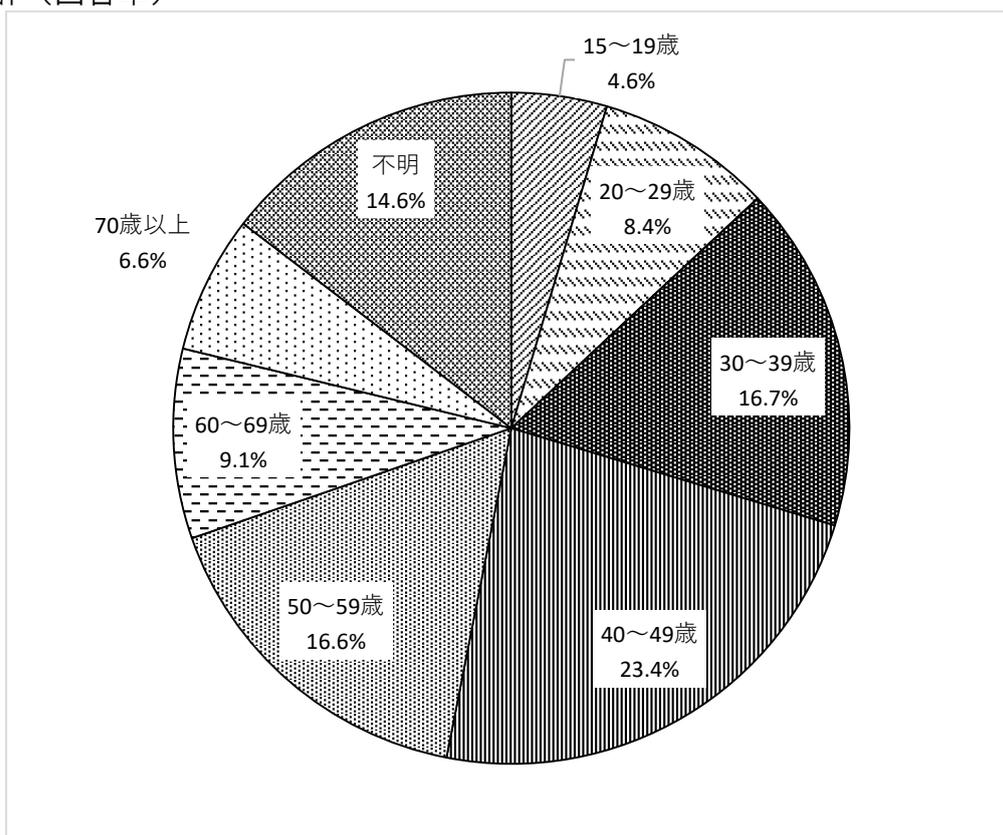


(2) 年齢

ひきこもりの状態にある方の年齢について、県全体でみると、「40～49歳」と回答した委員の割合が23.4%(297名)と最も高く、次いで「30～39歳」が16.7%(212名)、「50～59歳」が16.6%(211名)という結果になりました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
15～19歳	回答	58	24	17	11	4	2
	比率	4.6%	5.7%	5.6%	4.3%	2.5%	1.6%
20～29歳	回答	107	39	19	25	16	8
	比率	8.4%	9.2%	6.2%	9.7%	10.1%	6.3%
30～39歳	回答	212	57	60	46	32	17
	比率	16.7%	13.5%	19.6%	17.9%	20.1%	13.5%
40～49歳	回答	297	97	63	66	43	28
	比率	23.4%	23.0%	20.6%	25.7%	27.0%	22.2%
50～59歳	回答	211	86	43	37	22	23
	比率	16.6%	20.4%	14.1%	14.4%	13.8%	18.3%
60～69歳	回答	116	39	33	20	10	14
	比率	9.1%	9.2%	10.8%	7.8%	6.3%	11.1%
70歳以上	回答	84	19	23	14	14	14
	比率	6.6%	4.5%	7.5%	5.4%	8.8%	11.1%
不明	回答	185	61	48	38	18	20
	比率	14.6%	14.5%	15.7%	14.8%	11.3%	15.9%

■ 県全体集計（回答率）



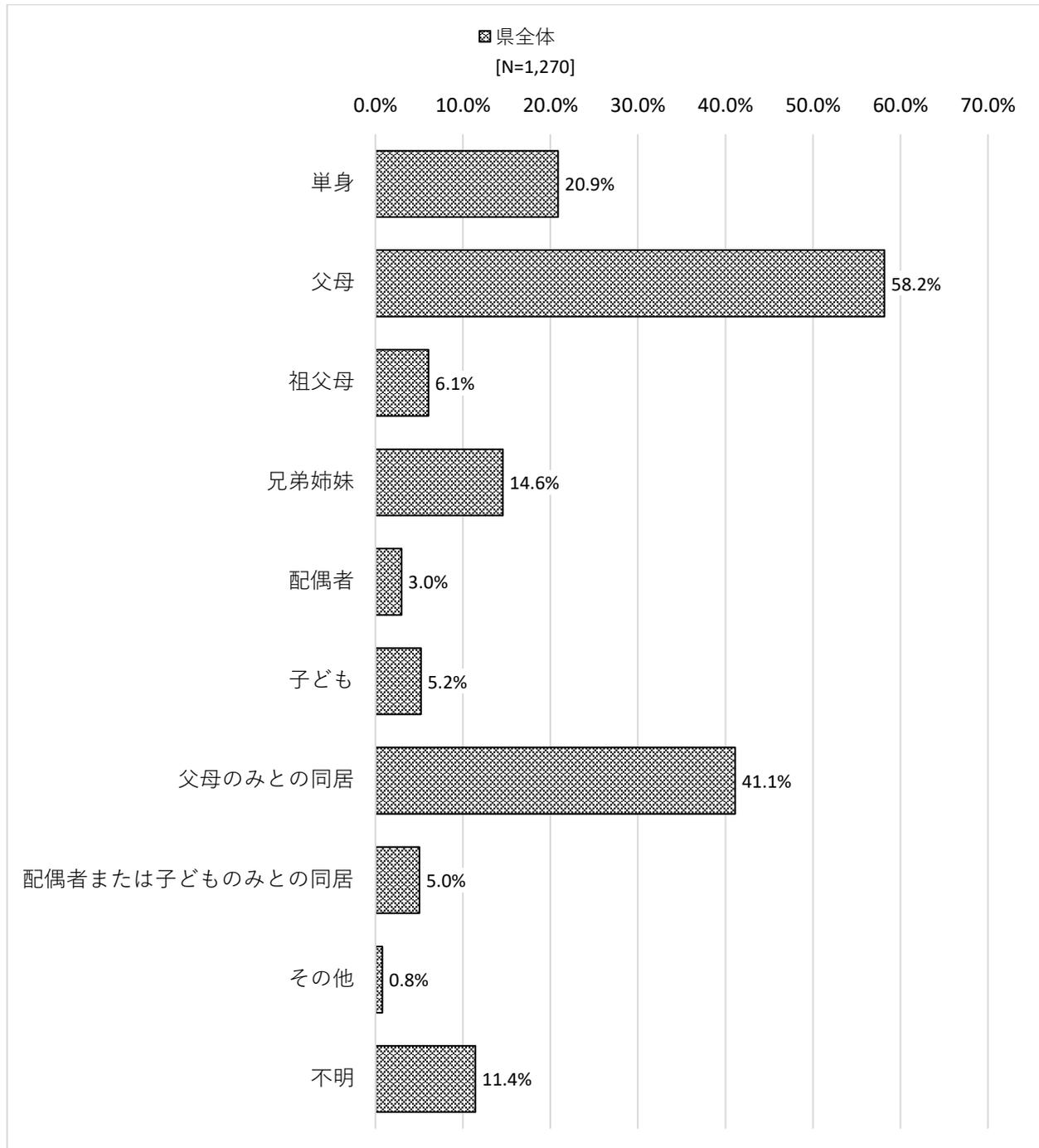
(3) 家族構成

ひきこもりの状態にある方の家族構成について、県全体でみると、「父母」と回答した委員の割合が58.2%(739名)と最も高く、次いで、「父母のみとの同居(※)」が41.1%(522名)、「単身」が20.9%(265名)という結果でした。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
単身	回答	265	92	74	33	23	43
	比率	20.9%	21.8%	24.2%	12.8%	14.5%	34.1%
父母	回答	739	252	152	170	103	62
	比率	58.2%	59.7%	49.7%	66.1%	64.8%	49.2%
祖父母	回答	77	19	25	20	11	2
	比率	6.1%	4.5%	8.2%	7.8%	6.9%	1.6%
兄弟姉妹	回答	185	62	42	46	24	11
	比率	14.6%	14.7%	13.7%	17.9%	15.1%	8.7%
配偶者	回答	38	9	9	7	9	4
	比率	3.0%	2.1%	2.9%	2.7%	5.7%	3.2%
子ども	回答	66	20	22	15	8	1
	比率	5.2%	4.7%	7.2%	5.8%	5.0%	0.8%
父母のみとの同居(※)	回答	522	179	97	117	74	55
	比率	41.1%	42.4%	31.7%	45.5%	46.5%	43.7%
配偶者または子どものみとの同居(※)	回答	64	16	17	15	11	5
	比率	5.0%	3.8%	5.6%	5.8%	6.9%	4.0%
その他	回答	10	3	3	3	1	0
	比率	0.8%	0.7%	1.0%	1.2%	0.6%	0.0%
不明	回答	145	47	46	25	16	11
	比率	11.4%	11.1%	15.0%	9.7%	10.1%	8.7%

※父母のみとの同居：「父母」を選択した回答のうち、他の質問項目を重複して選択していない回答
 配偶者または子どものみとの同居：「配偶者」または「子ども」を選択した回答のうち、他の質問項目を重複して選択していない回答

■ 県全体集計（回答率）



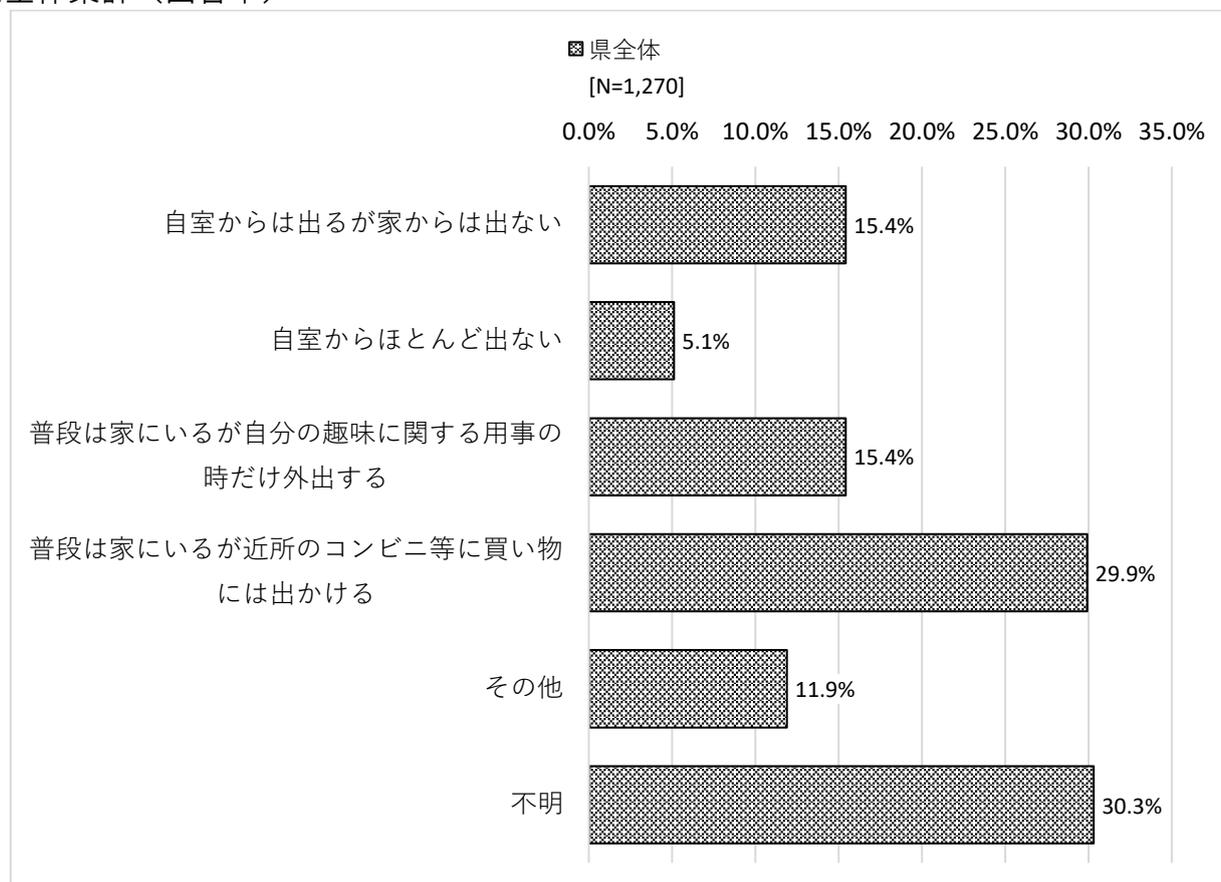
(4) 外出状況

ひきこもり状態にある方の外出状況について、県全体でみると、「普段は家にいるが近所のコンビニ等に買い物には出かける」と回答した委員の割合が29.9%(380名)と高くなる一方、「自室からほとんど出ない」が5.1%(65名)と低い結果になりました。

「その他」の項目に関しては、「スーパーへの買い物」「父母との買い物への同行」「通院、ハローワーク」「子どもの送迎」「犬の散歩」「ゴミ捨て」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
自室からは出るが家からは出ない	回答	196	61	51	47	19	18
	比率	15.4%	14.5%	16.7%	18.3%	11.9%	14.3%
自室からほとんど出ない	回答	65	20	13	14	12	6
	比率	5.1%	4.7%	4.2%	5.4%	7.5%	4.8%
普段は家にいるが自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	回答	196	68	45	39	29	15
	比率	15.4%	16.1%	14.7%	15.2%	18.2%	11.9%
普段は家にいるが近所のコンビニ等に買い物には出かける	回答	380	132	87	65	52	44
	比率	29.9%	31.3%	28.4%	25.3%	32.7%	34.9%
その他	回答	151	50	38	34	20	9
	比率	11.9%	11.8%	12.4%	13.2%	12.6%	7.1%
不明	回答	385	125	103	76	43	38
	比率	30.3%	29.6%	33.7%	29.6%	27.0%	30.2%

■ 県全体集計（回答率）



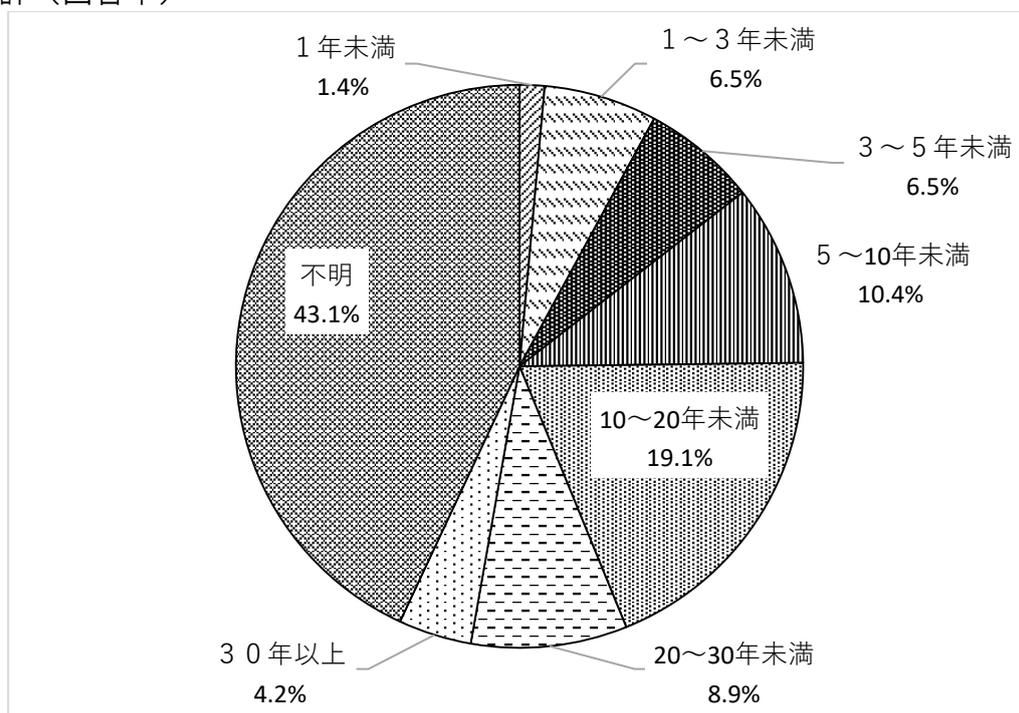
(5) ひきこもりの状態になってからの期間

ひきこもりの状態になってからの期間について、県全体でみると、「10～20年未満」と回答した委員の割合が19.1%(242名)と最も高く、次いで「5～10年未満」が10.4%(132名)、「20～30年未満」が8.9%(113名)という結果になりました。

また「5年未満」と回答した委員の割合は14.4%(183名)で、「5年以上」と回答した委員の割合は42.5%(540名)となりました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
1年未満	回答	18	4	5	4	2	3
	比率	1.4%	0.9%	1.6%	1.6%	1.3%	2.4%
1～3年未満	回答	82	27	23	16	5	11
	比率	6.5%	6.4%	7.5%	6.2%	3.1%	8.7%
3～5年未満	回答	83	30	19	19	10	5
	比率	6.5%	7.1%	6.2%	7.4%	6.3%	4.0%
5～10年未満	回答	132	49	35	22	11	15
	比率	10.4%	11.6%	11.4%	8.6%	6.9%	11.9%
10～20年未満	回答	242	82	58	49	33	20
	比率	19.1%	19.4%	19.0%	19.1%	20.8%	15.9%
20～30年未満	回答	113	37	23	25	19	9
	比率	8.9%	8.8%	7.5%	9.7%	11.9%	7.1%
30年以上	回答	53	17	12	9	9	6
	比率	4.2%	4.0%	3.9%	3.5%	5.7%	4.8%
不明	回答	547	176	131	113	70	57
	比率	43.1%	41.7%	42.8%	44.0%	44.0%	45.2%

■県全体集計（回答率）



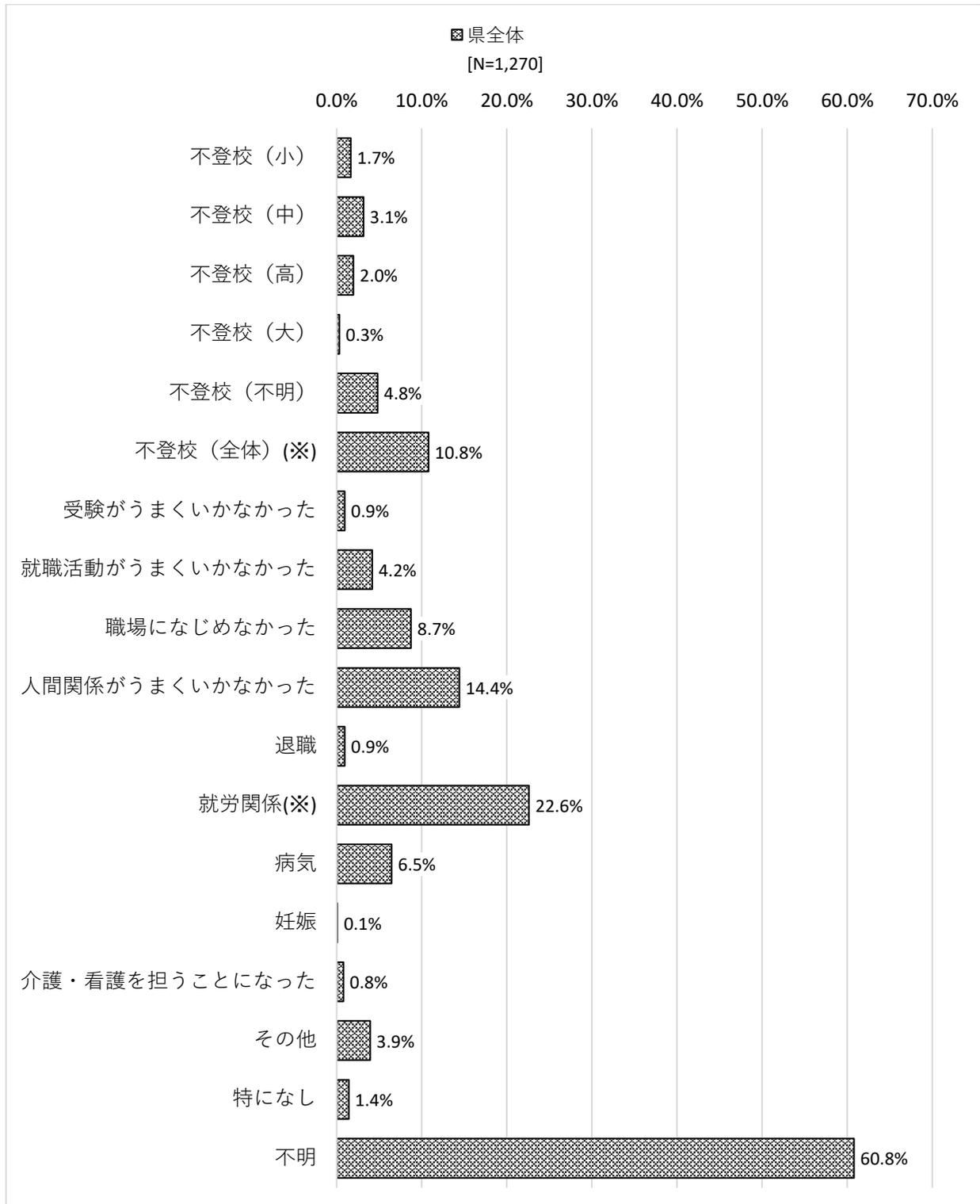
(6) ひきこもりの状態になった経緯・きっかけ

ひきこもりの状態になった経緯・きっかけについて、県全体でみると、「就職活動がうまくいかなかった」「職場になじめなかった」「人間関係がうまくいかなかった」「退職」の何れかを選択した「就労関係」に関する回答をした委員の割合が22.6%(287名)と高く、「不登校(小)」「不登校(中)」「不登校(高)」「不登校(大)」「不登校(不明)」の何れかを選択した「不登校」に関する回答をした委員の割合が10.8%(137名)という結果になりました。

「その他」の項目に関しては、「離婚」「お金がない」「交通事故」「引越し」「親の教育、しかり、注意」「親族の死亡を期に」「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大」を背景とした記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
不登校(小)	回答	21	8	4	4	4	1
	比率	1.7%	1.9%	1.3%	1.6%	2.5%	0.8%
不登校(中)	回答	40	19	13	3	4	1
	比率	3.1%	4.5%	4.2%	1.2%	2.5%	0.8%
不登校(高)	回答	25	11	6	3	4	1
	比率	2.0%	2.6%	2.0%	1.2%	2.5%	0.8%
不登校(大)	回答	4	0	2	2	0	0
	比率	0.3%	0.0%	0.7%	0.8%	0.0%	0.0%
不登校(不明)	回答	61	28	11	12	9	1
	比率	4.8%	6.6%	3.6%	4.7%	5.7%	0.8%
不登校(全体)(※)	回答	137	59	30	24	20	4
	比率	10.8%	14.0%	9.8%	9.3%	12.6%	3.2%
受験がうまくいかなかった	回答	12	5	2	4	1	0
	比率	0.9%	1.2%	0.7%	1.6%	0.6%	0.0%
就職活動がうまくいかなかった	回答	53	11	14	15	9	4
	比率	4.2%	2.6%	4.6%	5.8%	5.7%	3.2%
職場になじめなかった	回答	111	39	24	24	13	11
	比率	8.7%	9.2%	7.8%	9.3%	8.2%	8.7%
人間関係がうまくいかなかった	回答	183	68	31	41	29	14
	比率	14.4%	16.1%	10.1%	16.0%	18.2%	11.1%
退職	回答	12	1	2	4	2	3
	比率	0.9%	0.2%	0.7%	1.6%	1.3%	2.4%
就労関係(※)	回答	287	95	59	66	43	24
	比率	22.6%	22.5%	19.3%	25.7%	27.0%	19.0%
病気	回答	82	26	26	18	7	5
	比率	6.5%	6.2%	8.5%	7.0%	4.4%	4.0%
妊娠	回答	1	0	0	0	1	0
	比率	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
介護・看護を担うことになった	回答	10	5	2	2	1	0
	比率	0.8%	1.2%	0.7%	0.8%	0.6%	0.0%
その他	回答	50	10	9	13	12	6
	比率	3.9%	2.4%	2.9%	5.1%	7.5%	4.8%
特になし	回答	18	6	5	3	1	3
	比率	1.4%	1.4%	1.6%	1.2%	0.6%	2.4%
不明	回答	772	243	194	153	92	90
	比率	60.8%	57.6%	63.4%	59.5%	57.9%	71.4%

■ 県全体集計（回答率）



※不登校 (全体)：「不登校 (小)」「不登校 (中)」「不登校 (高)」「不登校 (大)」「不登校 (不明)」の何れかを選択した回答

就労関係：「就職活動がうまくいかなかった」「職場になじめなかった」「人間関係がうまくいかなかった」「退職」の何れかを選択した回答

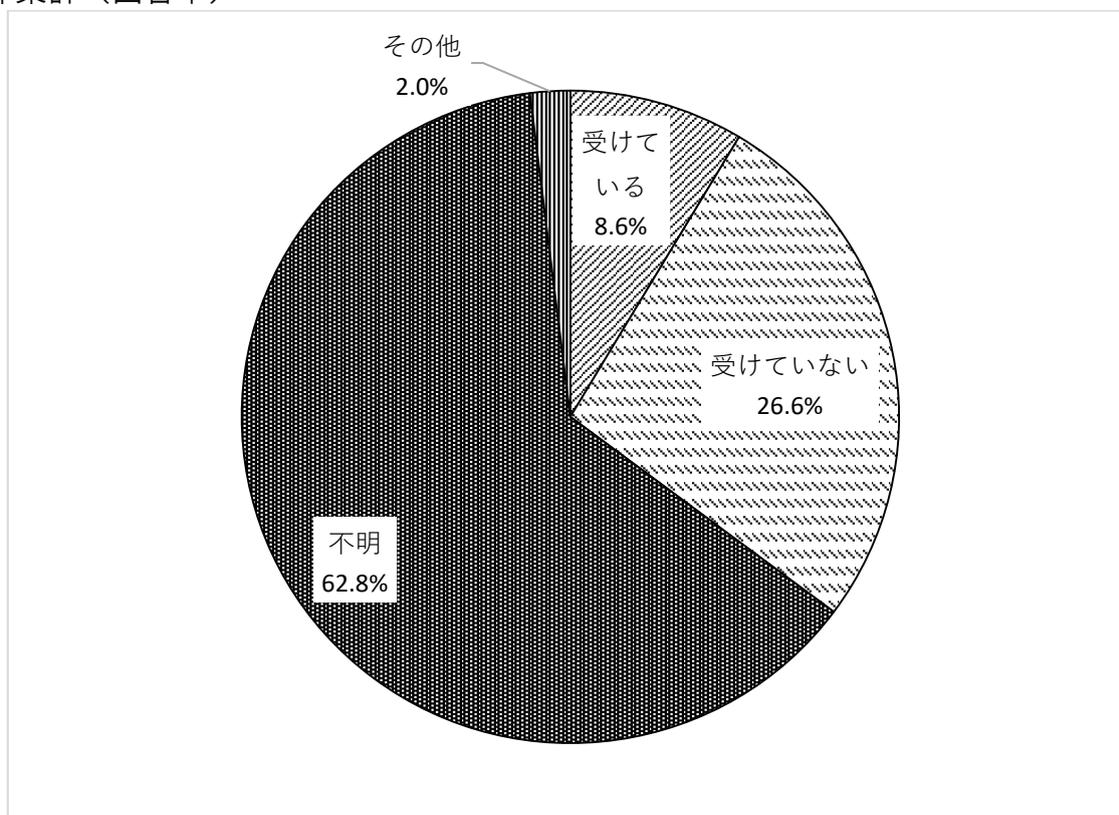
(7) 現在の支援状況

ひきこもり状態にある方の現在の支援状況について、県全体でみると、「受けている」と回答した委員の割合が8.6%(109名)で、「受けていない」と回答した委員の割合が26.6%(338名)になりました。

「受けている」と回答した委員のうち、現在利用している支援内容については、「介護サービス」「社会福祉協議会からの支援」「就労支援」「生活保護」「地域包括支援センター」「医療機関への通院」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
受けている	回答	109	37	29	22	10	11
	比率	8.6%	8.8%	9.5%	8.6%	6.3%	8.7%
受けていない	回答	338	95	90	72	49	32
	比率	26.6%	22.5%	29.4%	28.0%	30.8%	25.4%
不明	回答	798	283	182	155	96	82
	比率	62.8%	67.1%	59.5%	60.3%	60.4%	65.1%
その他	回答	25	7	5	8	4	1
	比率	2.0%	1.7%	1.6%	3.1%	2.5%	0.8%

■県全体集計（回答率）



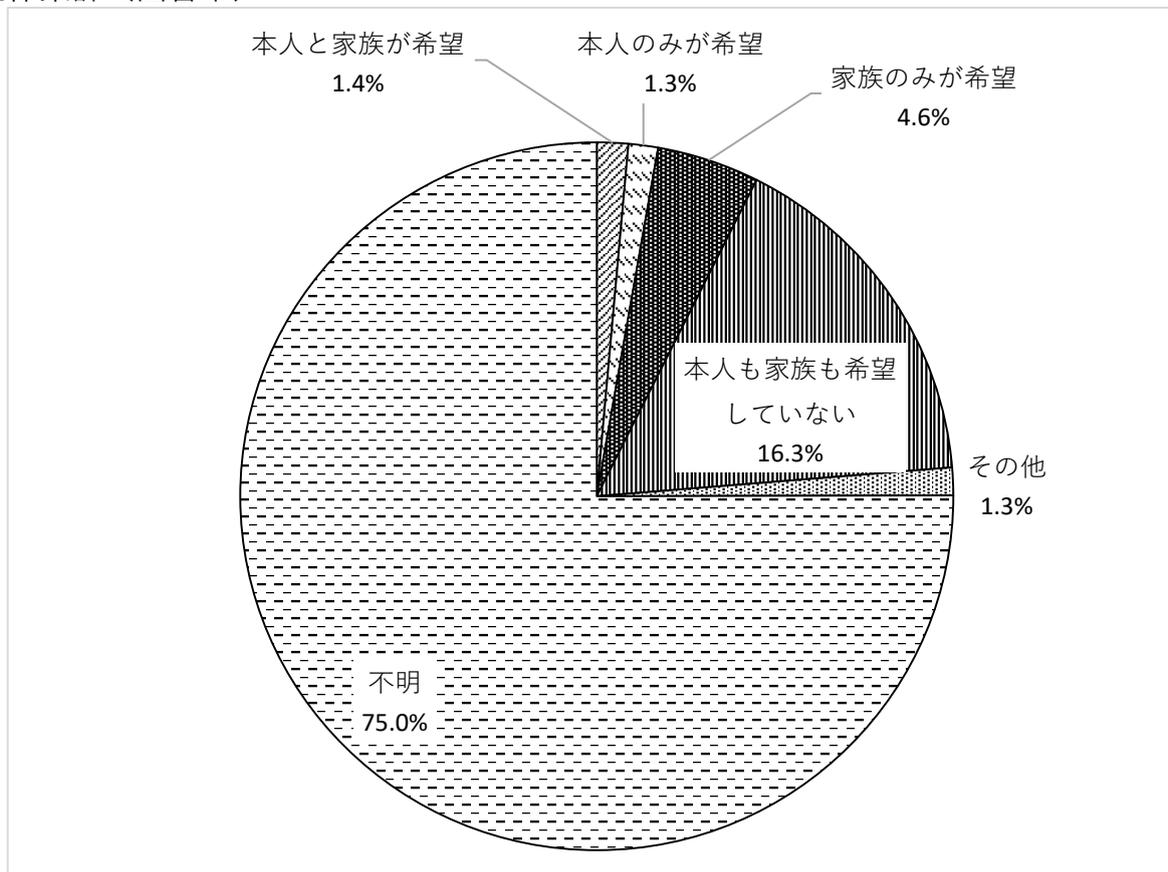
(8) 支援の希望の有無

ひきこもり状態にある方の支援の希望の有無について、県全体でみると、「本人も家族も希望していない」と回答した委員の割合が16.3%(207名)と最も高く、「本人と家族が希望」「本人のみが希望」「家族のみが希望」を合わせた「希望している」と回答した委員の割合が7.4%(94名)という結果になりました。

「その他」の項目に関しては、「親族」「近隣住民」「これから確かめていきたい」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
本人と家族が希望	回答	18	2	8	3	4	1
	比率	1.4%	0.5%	2.6%	1.2%	2.5%	0.8%
本人のみが希望	回答	17	5	7	2	2	1
	比率	1.3%	1.2%	2.3%	0.8%	1.3%	0.8%
家族のみが希望	回答	59	17	18	11	12	1
	比率	4.6%	4.0%	5.9%	4.3%	7.5%	0.8%
本人も家族も希望していない	回答	207	60	60	48	22	17
	比率	16.3%	14.2%	19.6%	18.7%	13.8%	13.5%
その他	回答	16	6	2	5	2	1
	比率	1.3%	1.4%	0.7%	1.9%	1.3%	0.8%
不明	回答	953	332	211	188	117	105
	比率	75.0%	78.7%	69.0%	73.2%	73.6%	83.3%

■県全体集計（回答率）



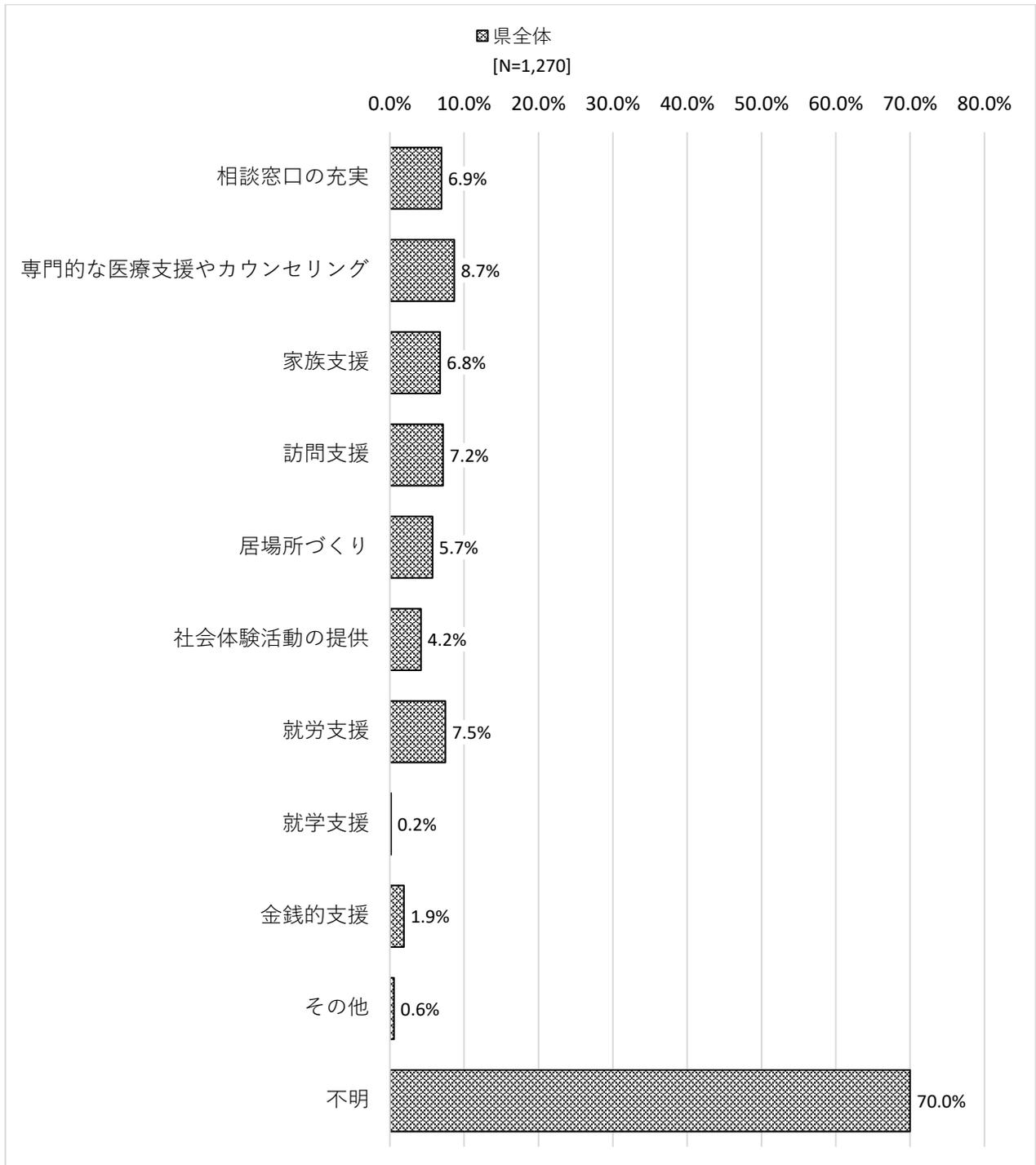
(9) 必要な支援策（複数回答）

ひきこもり状態にある方にとって必要な支援策について、県全体でみると、「専門的な医療支援やカウンセリング」と回答した委員の割合が8.7%(110名)と「不明」を除き最も高く、次いで「就労支援」が7.5%(95名)、「訪問支援」が7.2%(91名)という結果になりました。

「その他」の項目に関しては、「訪問の頻度を増やす」「施設入所」「支援は希望しない」「わからない」などの記述がありました。

		県全体	北勢	中勢	南勢志摩	伊賀	東紀州
相談窓口の充実	回答	88	29	21	15	19	4
	比率	6.9%	6.9%	6.9%	5.8%	11.9%	3.2%
専門的な医療支援やカウンセリング	回答	110	31	27	28	20	4
	比率	8.7%	7.3%	8.8%	10.9%	12.6%	3.2%
家族支援	回答	86	28	18	13	18	9
	比率	6.8%	6.6%	5.9%	5.1%	11.3%	7.1%
訪問支援	回答	91	26	23	18	15	9
	比率	7.2%	6.2%	7.5%	7.0%	9.4%	7.1%
居場所づくり	回答	73	24	16	11	14	8
	比率	5.7%	5.7%	5.2%	4.3%	8.8%	6.3%
社会体験活動の提供	回答	53	17	15	10	9	2
	比率	4.2%	4.0%	4.9%	3.9%	5.7%	1.6%
就労支援	回答	95	27	17	23	17	11
	比率	7.5%	6.4%	5.6%	8.9%	10.7%	8.7%
就学支援	回答	2	1	0	1	0	0
	比率	0.2%	0.2%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%
金銭的支援	回答	24	6	7	5	1	5
	比率	1.9%	1.4%	2.3%	1.9%	0.6%	4.0%
その他	回答	7	2	2	2	1	0
	比率	0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	0.6%	0.0%
不明	回答	889	306	221	175	94	93
	比率	70.0%	72.5%	72.2%	68.1%	59.1%	73.8%

■ 県全体集計（回答率）



Ⅲ 考察

ひきこもり状態にある方の把握は非常に難しく、今回の調査において把握していた民生委員・児童委員でも、詳細な状況把握が困難であることが明らかになりました。しかし、外形的にひきこもり状態にあると思われても、ひきこもり当事者やその家族が現状を問題ないと考えている場合があります。また、プライバシーへの配慮が必要なことから、相談がないのにさらに踏み込んで、ひきこもり当事者やその家族の実態を把握することが難しい状況もあります。

そのため、ひきこもり当事者やその家族が社会から孤立した状態にある場合に、躊躇せずに相談できる安心・安全な環境をつくっていくことが重要であると考えます。ひきこもりに対する偏見がなくなり、ひきこもりの状態で問題を抱える当事者やその家族が困っていることを隠さずに家族以外の「誰かに相談してもいいんだよ」という共通認識が社会全体に広がっていくよう、広く県民の皆さんへの啓発を進めていく必要があります。

今回の調査において、ひきこもり支援のために必要と考える施策として「相談窓口の充実」「相談窓口の周知・PR」と回答した民生委員・児童委員の割合が高いことが明らかになりました。そこで、ひきこもりに関する相談があった場合、民生委員・児童委員がどの関係機関や相談窓口につなげていけばいいのかがわかるように、相談窓口の情報をひきこもり当事者やその家族だけでなく、支援者、広く県民の皆さんにもわかりやすく提供していくことが重要です。また、民生委員・児童委員も、ひきこもり当事者やその家族と相談窓口とのつなぎ役として、ひきこもりに対する正しい理解の向上を図っていく必要があります。

民生委員・児童委員に対するひきこもり実態調査報告書（概要版）

発行：三重県
発行年月：令和3年12月
編集：三重県子ども・福祉部地域福祉課
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
電話 059-224-2256

調査委託先：三重県民生委員児童委員協議会
〒514-8552 三重県津市桜橋2丁目131
電話 059-227-5145